

東白石地区の各種関係団体訪問(第6回) ~各団体活動紹介

「東白石地区交通安全実践会 会長 清水 晃」と「交通安全母の会 会長 佐々木幸子」の活動を紹介します。

東白石地区交通安全実践会は、昭和38年4月に設立され、市・区の交通安全啓発行事、交通安全協会の各種街頭啓発、学童登下校時の指導、毎月第一月曜の街頭啓発等に取り組んでいます。

交通安全母の会は、「交通安全は家庭から」のスローガンの下、昭和55年に設立され、子供やお年寄りを対象とした交通安全指導・研修会の開催、新一年生の入学時に母の会手作りのマスコットの贈呈、関係団体と一緒に街頭啓発等を実施しています。

今後とも関係機関・団体と協力し、住み良い安全安心な地区になるよう努力してまいります。みなさんのご協力をお願いします。



交通安全街頭啓発

「白石消防団東白石分団 分団長 土肥 豊」と「ホワイトローズ隊 隊員 熊本 寛子」の活動を紹介します。

東白石分団は、昭和41年に結団し、東白石と白石東両地区が一つの分団として活動しています。現在団員は30名。「自分たちのふるさとを、自分たちで守る」を基本理念のもと、有事の際に対応できるよう日々訓練を行い、防火・防災活動を行っています。

通年活動では、家庭の家事器具の点検、消火器・煙感知機の設置アドバイス、防火リフレットの配付など。冬季は消火栓の除雪、暖房器具による火災事故予防啓発等を行っています。

ホワイトローズ隊は、「本都女性団」として、女性特有のソフトな対応を生かし、区内の応急手当の普及啓発活動を充実させることを目的として、白石消防団の女性団員で編成されてきましたが、平成26年8月31日に「白石消防団ホワイトローズ隊」と名称を新たに活動しています。東白石からは13名が参加し、救命技能の維持向上に努力しています。



地区防火防災訓練での
応急処置訓練風景

ご存知ですか? 暮らしに役立つ情報ひろば

東白石地区周辺の子育てサロン ~白石区子育て支援情報から~

【子育てサロン】:乳幼児親子と地域の方が自由に集い、交流できる場です。これから親になる方も参加できます。保育園・幼稚園・児童館でも子育てサロンや園解放やあそびの広場の日に自由に参加できます。子育て相談もあります。

	サロ ン 名	開 催 場 所 ・ 住 所	電 話	開 催 内 容 等
地 域	ここごサロン	本郷小学校三二児童会館・南郷通10丁目南3-1	ちあふる・しろいし 863-3160	第2火曜10時~11時半、8・11月第4火
	びかびかサロン	旭町内会館・平和通10丁目北4-15		第2金曜10時~11時半
	ぼかぼかサロン	南郷小学校三二児童会館・本郷通4丁目南3-1		第2木曜10時~11時半
保 育 園	そだてっこひろば	南郷保育園・栄通6丁目19-7	851-5878	月1回程度午前・登録制
	子育てサロン	札幌市東白石保育園・南郷8丁目北4-1	861-7062	金曜10:00~11:30
	あそびの広場	東白石雪ん子保育園・本通14丁目南1-5	864-8871	第2土曜10:00~11:30 要事前連絡
	園 解 放	札幌愛隣館第二保育園・平和通8丁目北3-47	864-0762	要事前連絡
幼 稚 園	おひさまクラブ1~5歳	本郷幼稚園・本郷通南4-17	861-6211	お問い合わせください
	キッズランド2~4歳	あさひ幼稚園・平和通10丁目北7-56	864-7511	お問い合わせください
	ここごランド1~5歳	南郷札幌幼稚園・栄通9丁目4-14	851-7022	お問い合わせください
児 童 公 館	常設子育てサロン	柏丘児童会館・平和通8丁目北3-44	865-7520	毎水曜10:30~12:00
	常設子育てサロン	東白石児童会館・本通13丁目南10-1	863-8833	毎木曜10:30~12:00
	常設子育てサロン	栄通児童会館・栄通6丁目19-12	853-5706	毎金曜10:30~12:00

編集後記

今回は、東白石まちづくり実践会の26年度における活動報告と、創立50周年を迎えた東白石地区町内会連合会の歩みと展望を中心にお届けします。ご協力いただいた多くの皆様により感謝申し上げます。今後も、各町内会の取り組みや各種団体の紹介と共に、身近な暮らしに役立つ情報を多く取り入れたいと思いますので、皆様からの情報提供をお願いいたします。

東白石通信

東白石まちづくり実践会
とんぱくニュース
札幌市白石区本通13丁目南10-1
東白石まちづくりセンター内
TEL861-9626 FAX861-4369

『福祉のまちづくり』の実践

東白石地区社会福祉協議会 会長 中西 哲男



昭和25年、札幌市と合併した白石村は、近郊農業地帯から都市の住宅地帯として転換をはかることになりました。地主を中心とした土地所有者は土地整備を行い学校・公園用地を整備し、公営住宅や個人住宅の造成が行われました。市内外から転入してきた新住民により町内会がつくられ、住民相互の親睦と生活上の問題を行政と協力して解決を図ってきました。同時に町内会の連合会がつくられ、町内会からの拠出金を基に社会福祉協議会を設立し、各町内会だけでは解決が難しい福祉関係の事業を関係団体と協力・支援の活動を担う組織を設けました。白石地区から分離独立した東白石連町もその年に社会福祉協議会を設立しました。当初の活動は、高齢者福祉では敬老会の開催、老人クラブの支援。青少年対策は、キャンプ、スケートリンクの開設、少年野球・少女ソフトボール大会が開催されました。

その後、経済成長率が高くなり福祉政策が充実され、医療、介護、子育ての分野に制度がつくられました。地域での福祉活動は国の制度に沿っていきました。しかし、日本経済の力が弱くなり、低成長でも維持できる社会保障制度や財政に転換していかなければならなくなりました。福祉政策を先送り、増税や社会保障費の見直し、窓口での利用者の負担増も年金支給開始年齢の上げにも必要とされています。国民生活に定着している福祉制度を維持していくには、痛みのある政策も受け入れなければならないでしょう。

負担は高齢者だけでなく若い世代も、現在の社会福祉の制度の長所や欠陥を知り、他人任せにせず社会福祉制度の維持と改善の道を社協や町内会を中心にして地域全体で協力し改善していく意識の変革が求められています。

◇ 東白石地区町内会連合会創立50周年~歩みと展望~

東白石地区町内会連合会 会長 山中 忠典



当町連は昭和39年10月9日、白石地区から東白石地区が独立し今年で創立50周年を迎え、さる平成27年1月9日、記念式典を挙げていたしました。これもひとえに会員をはじめとする関係者の皆様のご厚情の賜物と深く感謝申し上げます。

この間を顧みますと、白石区の発展に伴う急速な市街化及び家族構成の変化等による安心安全への関心や子育て世帯のニーズの高まり、さらには時代の変遷とともに高齢化による高齢者ニーズの高まり、地域活動の担い手不足及び低い町内会加入率等様々な地域課題も山積しております。この様な行政や町内会だけでは担いきれない課題に対して、平成16年頃より、町内会はもとより地域の様々な団体・関係者が力を合わせて取り組む動きが各地で始まり、平成18年3月には当地区でも「まちづくり実践会」が設立され、安心安全パトロール、子育てサロン、青少年育成事業等が開始され、高齢者支援事業も加わって今日に至っております。今後は東白石地区が実践会設立当初の趣旨である地域力結集が一層進むよう、地域の関係各団体・関係者の皆様からさらに強固な絆の下、より柔軟な発想で、発展していけるよう心からお祈りしております。

